

日本クリード復興支援部活動レポート

2012年10月13日

今回、我々日本クリード復興支援部が訪れたのは、宮城県石巻市大橋仮設住宅でした。この広い石巻市の中でもかなり大きな仮設住宅になります。沿岸ということもあり海風がこの時期以降厳しくなる地域であり、現に我々が伺った際も、風が強く、なかなかお湯が沸かなかったのが印象に残ります。しかし、住民は明るく元気な印象を受けました。子供達も元気よく走り回っておりました。本当に良かったです。ただ皆さん口々にしていたのは、『仮設住宅の冬は本当に厳しいんだよ』とのこと、私達はその事をしっかりと受け止め、被災地のSOSを一人でも多くの人に伝えていかなければいけないんだという事を責務として、今回の炊き出しを無事終了させました。日本クリード復興支援部は被災地にひまわりのような笑顔が戻るその日まで、我々ができる事を全力で実行する事を約束いたします。

